

令和6年度事業報告及び決算報告書

事業報告

I 総括

第78回国民スポーツ大会は、天皇杯成績が昨年の「745.5点 41位」から「684点 45位」に、皇后杯成績は点数が上がっているものの昨年の「447.5点 41位」から「450点 42位」へと、ともに順位を落とした。また、少年種別においては「132.5点 43位」と、少年種別の順位が全国最下位となった茨城国体と比較し上回ってはいるものの厳しい結果であった。

第79回国民スポーツ大会冬季大会では、スケート競技会で本県として19年ぶりに少年種別リレー種目で入賞し、昨年に続き得点を獲得した。スキー競技会においても、3年ぶりの地元開催の中、優勝はクロスカンントリー成年女子Aで本協会テクニカルアドバイザー本田千佳の1つに留まったが、合計20種目で入賞し、男女総合4位、女子総合2位と素晴らしい健闘であった。

冬季国スポ終了時点で、天皇杯得点122.0点（11位）を獲得し、第79回滋賀国スポに向け厳しいスタートではあるものの、本県の実情を踏まえると冬季競技の選手・スタッフの健闘は素晴らしいものであった。

本県ジュニア強化策の柱となるチームAKITA強化・育成システムが、今年度から第2期に入り、フェンシング・バレーボールに替わり今回から新たに卓球・ローイング・空手道が加わり、計10競技でスタートした。競技団体の事業充実に向け、第1期の反省なども踏まえ、競技団体がより充実した強化事業を実施できるよう、関係機関とともに環境整備の面で改善に向けた種々の会議や視察の機会を設け、本システムの改善に努めた。その中で、外部有識者であるアドバイザーによる様々なアドバイスとともに、本システムの見直すべき課題などを洗い出し、次年度に取り組むべき方針・課題を明確にした。

成年カテゴリーの競技力向上に向けては、特に社会人スポーツ強化チームの活躍に期待がかかるところであり、今年度は国スポ6連覇に向け臨んだJR東日本秋田バスケットボール部が、惜しくも準優勝ではあったものの本県競技力の柱として大いに活躍した。その後の1月に行われた第1回日本社会人バスケットボールリーグにおいては初代チャンピオンとなり、3月の第7回全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップも2連覇を収めるなど、国内企業チームとしての実力を遺憾なく発揮した。しかし、北都銀行バドミントン部は、オリンピックを擁する有力チームではあったものの、パリ五輪終了とともに選手の進退問題により国スポでの戦力発揮とはならず国スポでは無得点に終わった。さらに、秋田銀行女子バスケットボール部と秋田ノーザンブレッツラグビーフットボールクラブは、東北枠が1つという状況ではあったものの、東北ブロック予選で敗退し本戦出場を逃しており、以前の様な東北圏内でのアドバンテージは無く、今後のさらなる手立てが求められるところであり、次年度に向けた支援はより手厚いものとする事とした。

アスリートの就職支援では、年度を跨いだ3名を含む19名を支援した。5年ぶりに、県の要件を適用するマッチングが成立し、3名が適用となった。そのうち昨年度から新しく設定された要件を適用する1名も含まれる。全体では、要件適用者を含む8名の内定を獲得した。

スポーツの普及啓発・広報では、機関誌「スポーツ秋田」の発行やホームページによる情報発信を行い、情報発信するドメインを体育からスポーツへの変更を行ったほか、昨年度の創立100周年に合わせて製作した創立100周年記念史を県内外の関係機関、関係者への献本を行った。

生涯スポーツの振興では、総合型クラブの登録・認証制度の運用が本格的に開始され、県内23クラブが全国協議会の登録認定を受けた。地域住民や行政から信頼性の高いクラブとして認知されるようにスポーツクラブとしてのコンプライアンスやガバナンスの必要性について研修を行った。

また、各クラブが持続可能な運営を行うための資質向上のための研修会やディスカッション、先進クラブの取組について情報提供を行った。

また、スポーツ少年団活動では、交流大会を開催し団活動の活性化を図ったほか、スポーツ少年団の指導者育成のため、養成講習会や研修会の実施、団活動等を紹介する広報誌を発行した。

II 事業内容

《公1》競技スポーツ事業

【4,942千円】

1 第75回県民スポーツ大会

(1) 第75回県民スポーツ大会の運営に必要な経費の一部助成

1競技の中止により、40競技 5,412名が参加

《公2》スポーツの競技力向上及び普及等に関する事業

【114,838千円】

1 競技力向上対策事業

(1) スポーツ医・科学の活用

スポーツドクター、トレーナーによるスポーツ医・科学的サポート

①国スポの選手・指導者のメディカルチェック及びサポート

国民スポーツ大会本大会と国民スポーツ大会冬季大会で実施

②国スポへの本部役員帯同ドクターの派遣 本大会2名派遣、冬季大会2名派遣

③国スポへの本部役員帯同アスレティックトレーナーの派遣

本大会3名派遣、冬季大会2名派遣

④アンチ・ドーピング講習会の開催

県内トレーナー・栄養士・競技団体強化担当者 [令和6年7月15日]

国スポ出場選手 [令和6年9月4日] 実施

(2) 東北ブロック・国スポへの選手団派遣

①東北ブロック大会兼第51回東北総合スポーツ大会 (秋田県)

[令和6年8月23日～25日 (主会期)]

エントリー数 37競技 905名

②第78回国民スポーツ大会本大会 (佐賀県)

[令和6年9月5日～10月15日 (本大会)]

エントリー数 32競技 342名

※特別競技の高等学校野球競技 (軟式) 監督2名選手16名含む

③第79回国民スポーツ大会冬季大会

スケート競技会 [令和7年1月26日～1月29日] (群馬県渋川市)

エントリー数 1競技 11名

スキー競技会 [令和7年2月21日～24日] (秋田県鹿角市)

エントリー数 1競技 73名

(3) チームAKITA強化・育成システムによる選手育成・強化

①チームAKITA強化・育成システム

指定の10競技団体にスポーツ振興課・保健体育課・スポーツ科学センター・本会

の4課合同視察を行い、強化練習会の激励・戦力分析の実施
②中学生強化選手の指定・研修
選手の指定 [令和6年6月23日] 11競技 56名
[令和6年11月24日] 4競技 11名
メディカルチェック（身体検査・採血検査）[令和6年6月23日、11月24日] 実施
競技力向上研修（オンライン研修等）[令和6年8月9日～令和7年3月20日]
中・高連携強化プロジェクト（パフォーマンステスト・指導者研修）
[令和6年11月10日、令和6年12月1日] 実施

- (4) テクニカルアドバイザー等による競技力向上
テクニカルアドバイザー（6名）、ジュニア育成アドバイザー（2名）を配置
- (5) 社会人チームの支援及び強化
国スポ等で活躍する社会人スポーツ選手の競技力向上のための支援
- (6) トップアスリートの活躍を支援する取り組み
現役アスリートが県内に就職し競技を続行できるようにするため、アスリート就職推進アドバイザーを配置し、求人・求職情報の収集とマッチングサポートを実施
（支援者延べ19名、事業適用者3名、その他支援者16名）
- (7) スポーツを通じた成人世代による国際交流を実施
・実施競技：テニス、バスケットボール、卓球、バドミントン
・派遣：中国広東省深圳市 [令和6年5月24日～28日]
・受入：秋田県秋田市 [令和6年10月18日～22日]

2 スポーツの普及・振興を図るための広報活動

- (1) 機関誌「スポーツ秋田」（年3回 各2,000部）
- (2) スポーツ関連情報をホームページで発信
ドメインをakitaikyo.or.jpからakita-sports.or.jpに変更

3 加盟団体が実施したスポーツ事業への助成

- (1) 地域団体及び学校体育団体へ助成（28件）：加盟団体育成事業交付金
- (2) 競技団体へ助成（11件）：スポーツ振興助成事業助成金

4 体育・スポーツの振興に顕著な功績があった者の顕彰

- (1) 秋田県スポーツ賞表彰 [令和7年3月24日]
功労賞7名、栄誉賞2名、特別賞4名・1団体、国際優秀賞1名、国際奨励賞7名、優秀指導者賞3名、栄光賞28名・12団体、奨励賞9名・4団体
- (2) 人見スポーツ賞表彰 [令和7年3月24日]
個人の部 志田 千陽（株式会社再春館製薬所）
団体の部 JR東日本秋田バスケットボール部ペッカーズ（バスケットボール）

(3) 畠沢国民スポーツ大会賞表彰 [令和7年3月24日]
個人の部 山鹿 辰士 (レスリング・秋田商業高校3年)
団体の部 秋田県女子チーム (スキー)

(4) 辻ジュニアスポーツ大賞表彰 [令和7年3月24日]
個人の部 浦田 沙椰 (レスリング・追分小学校5年)
団体の部 秋田市立桜中学校野球部 (軟式野球)
秋田市ジュニアフェンサーズ (フェンシング)

(5) 蒔苗スポーツ指導者賞表彰 [令和7年3月24日]
宮原 崇 秋田商業高校レスリング部監督

5 人見スポーツ傷害基金による傷害防止対策事業
研修会 中止
死亡弔慰金の給付 該当なし

6 競技団体が実施する競技会等の共同主催 (後援)
共同主催 2件 (県スポ、東北総スポ)
後援 61件

7 スポーツ安全保険業務
年間を通じて、スポーツ安全保険の普及活動を行ったほか、スポーツ活動等の普及奨励及び安全指導の実施

《公3》生涯スポーツ振興事業

【60,989千円】

1 総合型地域スポーツクラブの育成指導・助言

(1) 総合型クラブの登録・認定
県内 23クラブ

(2) 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業

①総合型地域スポーツクラブ常任幹事会・総会

- ・第1回常任幹事会 [令和6年5月2日]
- ・第2回常任幹事会 [令和6年10月3日]
- ・第3回常任幹事会 [令和7年3月6日]
- ・総会 [令和6年5月27日開催]

②中間支援組織を活用したスポーツ環境整備事業 (県委託事業)

- ・第1回地域スポーツ環境委員会 [令和6年5月2日]
- ・第2回地域スポーツ環境委員会 [令和6年10月3日]
- ・第3回地域スポーツ環境委員会 [令和6年12月16日]
- ・第4回地域スポーツ環境委員会 [令和7年3月6日]
- ・未登録クラブに対しての説明 [38クラブ]
- ・登録を希望する総合型クラブに対しての支援・指導 [18クラブ]
- ・登録審査業務 [22クラブ]
- ・研修会 [秋田市：令和6年6月17日]
- ・交流会等開催 [湯沢市：令和6年10月14日・令和7年2月14日～15日]

- ・ 県外への委員派遣 [山形県：令和6年11月23日～24日（2名派遣）]
[山形県：令和7年1月27日～28日（3名派遣）]
[石川県：令和7年2月7日（1名派遣）]
- ・ 総合型地域スポーツクラブ（全国登録・県認定クラブ）リーフレット作成 [500部]
- ③スポーツクラブ推進体制基盤強化事業（国庫補助事業）
 - ・ 第1回地域スポーツ推進団体連絡会議 [令和6年6月17日]
 - ・ 第2回地域スポーツ推進団体連絡会議 [令和6年10月3日]
 - ・ 第3回地域スポーツ推進団体連絡会議 [令和7年2月17日]
 - ・ 県外視察 [岐阜県：令和6年9月19日～21日（3名派遣）]
 - ・ アシスタントマネジャー養成講習会 [秋田市：6年11月9日～10日（7名受講）]
 - ・ 研修会開催 [秋田市：令和7年2月17日]
 - ・ 総合型地域スポーツクラブ周知リーフレット作成 [10,000部]

2 スポーツ指導者養成のための講習会、研修会

(1) スポーツ指導者研修会

- 第1回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和6年 6月 9日] 参加者100名
- 第2回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和6年 7月13日] 参加者53名
- 第3回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和6年11月23日] 参加者31名
- 第4回秋田県スポーツ指導者研修会 [令和6年11月24日] 参加者71名

(2) コーチ1養成講習会

- 日本スポーツ協会公認ソフトテニスコーチ1（専門科目）養成講習会
[令和6年12月7日～8日、14日] 参加者8名

3 スポーツ少年団の競技別交流大会、リーダー養成の研修会等の実施

(1) 交流大会

- ①第47回秋田県スポーツ少年団大会（各地、令和6年6月～令和7年2月）
サッカー（令和6年6月1日～8日 720名）柔道（令和6年9月8日 175名）バレー
ボール（令和6年10月19日～20日 605名）軟式野球（令和6年8月8日～12日 35
2名）ラグビー（令和6年9月28日～29日 245名）卓球（令和6年2月11日 138
名）ミニバスケットボール（令和6年11月30日～12月1日 女子212名 令和6年12月
7日～8日 男子224名）スキー（令和7年1月13日 ジャンプ12名 令和7年2月2日
アルペン48名 令和7年2月15日～16日 クロカン44名）の8競技を実施した。
- ②東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会（3県で開催、令和6年7月～令和7年3月）
サッカー（山形県 令和6年7月16日～17日 2団）軟式野球（秋田県 令和6年7月6日
2団）柔道（宮城県 令和6年12月7日～8日 4団）ミニバスケットボール（秋田県
令和7年2月22日～23日 女子2団 令和7年3月1日～2日 男子2団）の4競技を実施し
た。
- ③全国スポーツ少年大会（仙北市、令和6年7月27日～30日 21名）
秋田県にて開催し、全国から181名の参加となった。

(2) リーダー養成（随時開催）

- ①リーダー会総会（秋田市、令和6年5月19日 指導者6名、団員16名）
- ②リーダー研修会（秋田市、令和7年1月19日 指導者4名、団員10名）
- ③リーダーの集い（秋田市、令和7年3月16日 指導者6名、団員23名）

(3) 海外交流事業

スポーツ少年団日独スポーツ交流事業

(受入：なし 派遣：令和6年7月27日～8月13日 指導者1名 団員5名)

(4) スポーツ少年団モデル育成事業

八峰町、井川町、東成瀬村においてスポーツ交流会を実施

4 スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会等、スポーツ少年団顕彰等

(1) スタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会（秋田市、令和6年9月23日 92名 令和6年10月19日 86名 令和6年11月9日 75名 大館市、令和6年9月8日 78名 大仙市、令和6年12月21日 78名）

(2) 指導者等研究協議会・育成母集団研修会（秋田市、令和6年12月9日 55名）

(3) スポーツ少年団顕彰事業

功労者8名、優秀指導者7名、優秀単位団10団、優秀母集団1団

(4) スポーツ少年団広報事業

①広報誌「スポーツ少年秋田」（年2回 3,600部）

②「スポーツ少年団の現状」（年1回 800部）

《収益事業》

1 自主財源確保のための飲料水等販売事業

【5,476千円】

(1) 自動販売機事業（17施設 66台設置）

（事業収入 5,569千円）

III 組織運営及び財政確立

1 組織の充実

事務局の実施業務の効率的執行のため、課・担当を横断した業務遂行に努めたほか、強化委員による競技団体ヒアリングの実施や「第2期チームAKITAI,000点プラン」達成に向けての検討など強化対策に努めた。

2 財政の確立

(1) 賛助会員

法人85団体 個人17名

・受取会費 1,323千円

(2) 寄附金

法人14団体 個人27名

・寄附金総額 4,110千円

(3) 特別寄付金

秋田ノーザンハピネッツ株式会社から、バスケットボールの普及・振興等のための寄附

・寄附金総額 1,000千円